

## 小児固形腫瘍検体を用いたタンパク質 X 発現の解析

### 1. 研究の対象

2010年～2024年9月30日までに国立がん研究センター中央病院にて診断時の年齢が0歳以上30歳以下で、病理診断により神経芽腫 Neuroblastoma、ユーイング肉腫 Ewing's sarcoma (ES)、末梢性神経外胚葉性腫瘍 Primitive neuroectodermal tumor (PNET)、線維形成性小細胞腫瘍 desmoplastic small round cell tumor (DSRCT)、脳腫瘍(高悪性度中枢神経腫瘍)、神経内分泌腫瘍のいずれかの診断を受け、包括同意が得られている患者さんを対象とします。

### 2. 研究目的・方法

小児固形腫瘍におけるタンパク質 X の探索歴な発現解析を実施し、新規治療法の開発に資する情報を取得することです。

研究方法：国立がん研究センターにおいて包括同意が取得されている神経芽腫 Neuroblastoma、ユーイング肉腫 Ewing's sarcoma (ES)、末梢性神経外胚葉性腫瘍 Primitive neuroectodermal tumor (PNET)、線維形成性小細胞腫瘍 desmoplastic small round cell tumor (DSRCT)、脳腫瘍(高悪性度中枢神経腫瘍)、神経内分泌腫瘍のいずれかの診断を受けている患者さん由来の保存検体を使用します。既存のホルマリン固定パラフィン包埋ブロックより薄切標本を作成し、免疫組織化学染色によりタンパク質 X 発現解析を実施します。タンパク質 X は腫瘍細胞の表面に発現する特異的な抗原と考えられており、本研究により新たながん免疫療法の開発の進展が期待されます。

研究実施期間：研究許可日から2026年4月30日

本研究は Boehringer Ingelheim から研究資金を受領して行います。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、原発部位、組織採取部位、組織学的悪性度、病理診断に組織型情報、病期(限局型・局所進行・転移型)など

試料：腫瘍組織検体

#### 4. 外部への試料・情報の提供

本研究では共同研究機関である Boehringer Ingelheim, Austria への試料・情報の提供がありますが、匿名化し個人が特定できない状態で提供されます。対応表は研究責任者が保管・管理し、当院から外部への提供はありません。また、情報の提供の際は、パスワード設定された電子ファイルを送付することで行います。

#### 5. 研究組織

##### 研究責任者・研究代表者

田尾 佳代子

国立がん研究センター中央病院 小児腫瘍科

##### 研究分担者

小川 千登世

国立がん研究センター中央病院 小児腫瘍科

内田 恵理子 (研究事務局)

国立がん研究センター中央病院 小児腫瘍科

吉田 朗彦 (解析担当者)

国立がん研究センター中央病院 病理診断科

##### 共同研究者

Susanne Hipp

Boehringer Ingelheim Pharmaceuticals, Inc.

Vienna, Austria

#### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方(未成年の場合は代諾者を含む)にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究代表者・責任者：田尾 佳代子

連絡先：国立がん研究センター中央病院 小児腫瘍科

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

Tel：03-3542-2511（代）